

FOLFOX

催吐リスク: 3

適応疾患: 緩和的治療対象となる遠隔転移を有するもしくは再発食道癌

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m ²	d1
フルオロウラシル(45時間持続)	2400 mg/m ²	d1~
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m ²	d1
レボホリナート	200 mg/m ²	d1

FOLFOX+RT

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 2週1コース(6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オキサリプラチン	85 mg/m ²	d1
フルオロウラシル(46時間持続)	1600 mg/m ²	d1~
フルオロウラシル(bolus)	400 mg/m ²	d1
レボホリナート	200 mg/m ²	d1

オブジーボ(2週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	240 mg/body	d1

シスプラチン+フルオロウラシル+ニボルマブ(2週毎)

催吐リスク: 4

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	240 mg/body	d1、15
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

シスプラチン+フルオロウラシル+ニボルマブ(4週毎)

催吐リスク: 4

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	480 mg/body	d1
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

シスプラチン+フルオロウラシル+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース(6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

ドセタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ドセタキセル	70 mg/m ²	d1

ドセタキセル+ネダプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 進行・再発食道がん

投与スケジュール: 2週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アクプラ	40 mg/m ²	d1
ドセタキセル	30 mg/m ²	d1

ニボルマブ(2週毎)+イピリムマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	240 mg/body	d1、15、29
ヤーポイ	1 mg/kg	d1

ニボルマブ(3週毎)+イピリムマブ

催吐リスク: 1

適応疾患: 根治切除不能な進行・再発の食道癌

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	360 mg/body	d1、22
ヤーポイ	1 mg/kg	d1

ニボルマブ(4週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
オブジーボ	480 mg/body	d1

パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 8週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パクリタキセル	100 mg/m ²	d1、8、15、22、29、36

フルオロウラシル(250) + シスプラチン(5) + 放射線治療

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行食道がん

投与スケジュール: 6週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	5 mg/m ²	d1~5、8~12、15~19、22~26、29~33、36~40
フルオロウラシル	250 mg/m ²	d1~5、8~12、15~19、22~26、29~33、36~40

フルオロウラシル(400) + シスプラチン(40) + 放射線治療

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん(切除不能)

投与スケジュール: 5週1コース (2コース施行)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	40 mg/m ²	d1、8
フルオロウラシル	400 mg/m ²	d1~5、8~12

フルオロウラシル(700) + シスプラチン(70) + 放射線治療

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 4週1コース (2コース施行)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	70 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	700 mg/m ²	d1~4

フルオロウラシル(800) + シスプラチン(80)

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(CRT後・術後の補助療法 or 再発・転移)

投与スケジュール: 4週1コース 《CRT後・術後の補助療法 = 2コース、再発・転移 = 有効時は継続》

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

フルオロウラシル + ドセタキセル + シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発、術前補助)

投与スケジュール: 3週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	70 mg/m ²	d1
ドセタキセル	70 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	700 mg/m ²	d1~5

フルオロウラシル + ネダプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 4週1コース (2コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アクブラ	90 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

フルオロウラシル+ネダプラチン+放射線治療

催吐リスク: 3

適応疾患: 食道がん

投与スケジュール: 5週1コース (2コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アクプラ	90 mg/m ²	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

フルオロウラシル+ペムブロリズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 3週1コース(29コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

フルオロウラシル+分割ドセタキセル+シスプラチン

催吐リスク: 4

適応疾患: 食道がん(進行・再発)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	d1
ドセタキセル	30 mg/m ²	d1、15
フルオロウラシル	800 mg/m ²	d1~5

ペムブロリズマブ(3週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発の食道癌(CPS \geq 10%かつ扁平上皮癌)

投与スケジュール: 3週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	200 mg	d1

ペムブロリズマブ(6週1コース)

催吐リスク: 1

適応疾患: 進行・再発の食道癌(CPS \geq 10%かつ扁平上皮癌)

投与スケジュール: 6週1コース(PDまで)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
キイトルーダ	400 mg	d1

推奨投与量の単位

mg/m²:【体表面積】あたりの量 mg/kg:【体重】あたりの量
AUC:カルバートの式により算出 ⇒投与量(mg/body)=AUC目標値×(GFR+25)

略語の意味

NSCLC: 非小細胞肺癌
SCLC: 小細胞肺癌
PD: 病勢進行